

1. 概要

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組方針に対する各機関の取組について、平成30年度の活動報告と進捗状況及び今後の予定等について情報を共有するとともに、住民の防災意識の向上、住民の避難行動、市町の災害対応能力の向上などについて、活発な意見交換がなされた。

2. 実施状況

- 日時：令和元年5月13日（月）
- 場所：武雄河川事務所3階 会議室
- 出席者：佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、
武雄市、小城市、大町町、江北町、白石町、
佐賀地方气象台、佐賀県、武雄河川事務所
関係機関20名参加

▼会議状況



3. 議事内容

- 1) 平成30年度協議会の議事概要について
- 2) 嘉瀬川・六角川・松浦川流域の取組について
- 3) 意見交換（住民の防災意識の向上、住民の避難行動、市町の災害対応能力の向上など）

4. 主な意見・コメント等

- 県内治水ダムの水位情報などが「川の防災情報」で閲覧可能となっているため、市町の防災活動に活用していただきたい。
- 平成30年7月豪雨で全域に避難勧告を発令したこともあって、住民の防災意識は向上していると感じている。
- 明るいうちに避難勧告が出せ、予防的避難が可能となるよう、予告的な気象情報の充実や、早期避難に資する情報提供をお願いしたい。
- 受援マニュアルやタイムラインを作成しているが、職員が自分自身のことと認識するよう、より使いやすいものに改良していく必要がある。
- 保育園・幼稚園の職員や小中学校の先生を対象とした研修では、自分が住んでいる地域の地域性や災害特性を知っていただくことが重要である。
- 備蓄品の備蓄場所の確保や夏場の体育館などの避難所の環境、ペット同伴の避難に対する対応などの課題解決が必要である。